

「ドミノ研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

ドミノ牌（以下「ドミノ」）を、道をつくるように並べ、完成後、倒していくことを楽しむ「ドミノ倒し」と、ブロックのように積み上げ、城やビルなどのような形をつくるように並べる「ドミノアート」がある。

2 ねらい

仲間と協力して活動することを通して、思いやりや、忍耐力、集中力を育み、達成感を味あわせる。

3 場所、対象者

小学生以上とする。ただし、保護者または引率者と組んで活動する場合にはこの限りではない。

4 人数

体育館：最大200人程度

武道館：最大80人程度

※少人数であれば、研修室等の机の上でも実施可能



ドミノ入れカゴ と ストッパー

5 実施時期、時間

実施時期 通年

研修時間 9時00分～12時00分

13時30分～16時30分 17時30分～21時00分

6 準備物

個人：活動しやすい服装 もともになる図案（研修当日考えてもよい）

交流の家：ドミノ（体育館倉庫内）【白・黒・黄・赤・青・橙・緑 各約3000個】

ストッパー【100個】 ドミノ入れカゴ【25個】

※「ストッパー」とは、途中でドミノが倒れた時に、全部が倒れることを防ぐために、ドミノとドミノの間に置く仕切り板。

7 指導

団体で実施。

8 展開

(1) 「物品利用希望書」の提出

団体は必要事項を記入し、入所日の10日前までに交流の家に提出する。

- ・団体は、交流の家から体育館外倉庫の鍵（体育館である場合は体育館の鍵）を受け取り、倉庫から使用するドミノ、ストッパー、ドミノ入れカゴを運ぶ。

(2) 事前指導

- ・ねらいを確認した後で、グループ分け（7～8名程度）をし、グループの活動場所を知らせる。
- ・全体で一つのものを作るのか、グループでそれぞれ作るのかを確認する。
- ・並べたドミノの近くを歩くと、振動で倒れることがあるので、慎重に行動するように注意する。

(3) ドミノ活動（活動例）

<ドミノ倒し>

- ・ドミノとドミノの間が広すぎたり、カーブのドミノの置き方が不十分だったりすると、途中で止まることがある。
- ・本線（スタート地点からゴール地点まで、必ず倒れなければならないドミノ）から枝分かれで仕掛け（絵や見せ場）を工夫して作らせるのもよい。
- ・本線ルートを目安として、先にストッパーを並べておくと、全体像がつかめてよい。
- ・分担場所が終わったグループや個人は、静かに壁際に座らせるなどして、仲間を応援させる。
- ・すべて並べ終えた後で、ストッパーを慎重に外しドミノを倒す。

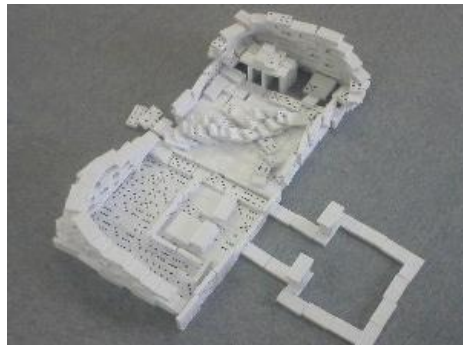
※グループ別でドミノを作らせる場合は、各班の倒れる長さのタイムを計るなどして、グループ対抗にする方法も考えられる。



ドミノ並べの風景

<ドミノアート>

- ・「夢のお城」「マリンワールド」など、作品のテーマを決めさせてから始めさせたり、最後にグループごとにできた作品を紹介させたりするとよい。



ドミノアートづくりの風景

(4) 事後指導

- ・ふりかえりをし、ねらいに対してどうだったかなどのまとめをする。
- ・ドミノ（色別）やストッパーを全員で集め、体育館倉庫に片付ける。
- ・倉庫（体育館使用の場合は体育館）の鍵を交流の家へ返却する。
- ・会場のゴミ拾いなどの掃除をする。

9 連絡先

国立江田島青少年交流の家

電話番号

0823-42-0660（代表）

0823-42-0661（プログラム担当係）